

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 19 年 4 月 19 日 (2007.4.19)

【公開番号】特開 2005-254483 (P2005-254483A)

【公開日】平成 17 年 9 月 22 日 (2005.9.22)

【年通号数】公開・登録公報 2005-037

【出願番号】特願 2004-65447 (P2004-65447)

【国際特許分類】

**B 4 1 J 29/38 (2006.01)**

**G 0 3 G 21/00 (2006.01)**

**H 0 4 N 1/00 (2006.01)**

**G 0 6 F 1/32 (2006.01)**

【F I】

B 4 1 J 29/38 D

G 0 3 G 21/00 3 7 0

G 0 3 G 21/00 3 7 6

G 0 3 G 21/00 3 9 8

H 0 4 N 1/00 C

G 0 6 F 1/00 3 3 2 E

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 3 月 7 日 (2007.3.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

プリンタ部とスキャナ部とを備える印刷装置であって、  
外部装置からプリントデータを受信する受信手段と、  
前記プリンタ部を利用するプリント処理及び、前記スキャナ部と前記プリンタ部を利用するコピー処理を制御する制御手段と、  
前記プリント処理を実行する際に、前記受信手段が受信したプリントデータを、前記プリント処理を実行するためのデータへ展開処理する展開手段と、  
前記制御手段及び前記展開手段のそれぞれへの電力供給を制御する電力制御手段とを有し、

前記制御手段は、前記電力制御手段により前記制御手段及び前記展開手段の両方に所定の電力を供給した状態で前記プリント処理を実行し、前記電力制御手段により前記制御手段に所定の電力を供給する一方前記展開手段へは所定の電力を供給しなくとも前記コピー処理を実行可能としたことを特徴とする印刷装置。

【請求項 2】

前記電力制御手段は、前記受信手段が前記プリントデータを受信しない時間が所定時間となったことに応じて、前記展開手段への電力供給を遮断することを特徴とする請求項 1 に記載の印刷装置。

【請求項 3】

前記電力制御手段は、前記受信手段が外部装置から特定のコマンドを受信したことに応じて、前記展開手段への電力供給を遮断することを特徴とする請求項 1 に記載の印刷装置。

**【請求項 4】**

前記コピー処理に関する設定を行う設定手段を有し、

前記電力制御手段は、前記設定手段による設定がされない時間が所定時間となったことに応じて、前記展開手段及び前記制御手段への電力供給を遮断することを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の印刷装置。

**【請求項 5】**

前記電力制御手段は、前記受信手段が前記外部装置からプリントデータを受信したことに応じて、前記展開手段への電力供給を再開するよう制御することを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の印刷装置。

**【請求項 6】**

プリンタ部とスキャナ部とを備える印刷装置における電力制御方法であって、

外部装置からプリントデータを受信する受信ステップと、

前記プリンタ部を利用するプリント処理及び、前記スキャナ部と前記プリンタ部を利用するコピー処理を制御部により制御する制御ステップと、

前記プリント処理を実行する際に、前記受信ステップが受信したプリントデータを、展開部により前記プリント処理を実行するためのデータへ展開処理する展開ステップと、

前記制御部及び前記展開部のそれぞれへの電力供給を制御する電力制御ステップとを有し、

前記制御ステップは、前記電力制御ステップにより前記制御部及び前記展開部の両方に所定の電力を供給した状態で前記プリント処理を実行し、前記電力制御ステップにより前記制御部に所定の電力を供給する一方前記展開部へは所定の電力を供給しなくとも前記コピー処理を実行可能としたことを特徴とする電力制御方法。

**【手続補正 2】**

**【補正対象書類名】明細書**

**【補正対象項目名】発明の名称**

**【補正方法】変更**

**【補正の内容】**

**【発明の名称】印刷装置及び電力制御方法**

**【手続補正 3】**

**【補正対象書類名】明細書**

**【補正対象項目名】0 0 0 1**

**【補正方法】変更**

**【補正の内容】**

**【0 0 0 1】**

本発明は、プリンタ部とスキャナ部とを備える印刷装置の電力制御に関する。

**【手続補正 4】**

**【補正対象書類名】明細書**

**【補正対象項目名】0 0 1 7**

**【補正方法】変更**

**【補正の内容】**

**【0 0 1 7】**

本発明は、上記の問題点を解消するためになされたもので、本発明の目的は、プリント処理を実行するためにプリントデータの展開処理をする展開部に電力を供給しなくてもコピー処理を実行可能にすることで、コピー処理実行時の節電効果を向上させることができる仕組みを提供することである。

**【手続補正 5】**

**【補正対象書類名】明細書**

**【補正対象項目名】0 0 1 8**

**【補正方法】削除**

**【補正の内容】**

## 【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

本発明に係る印刷装置は、以下の特徴的構成を備える。

プリンタ部とスキャナ部とを備える印刷装置であって、外部装置からプリントデータを受信する受信手段と、前記プリンタ部を利用するプリント処理及び、前記スキャナ部と前記プリンタ部を利用するコピー処理を制御する制御手段と、前記プリント処理を実行する際に、前記受信手段が受信したプリントデータを、前記プリント処理を実行するためのデータへ展開処理する展開手段と、前記制御手段及び前記展開手段のそれぞれへの電力供給を制御する電力制御手段とを有し、前記制御手段は、前記電力制御手段により前記制御手段及び前記展開手段の両方に所定の電力を供給した状態で前記プリント処理を実行し、前記電力制御手段により前記制御手段に所定の電力を供給する一方前記展開手段へは所定の電力を供給しなくとも前記コピー処理を実行可能としたことを特徴とする。

## 【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

本発明に係る電力制御方法は、以下の特徴的構成を備える。

プリンタ部とスキャナ部とを備える印刷装置における電力制御方法であって、外部装置からプリントデータを受信する受信ステップと、前記プリンタ部を利用するプリント処理及び、前記スキャナ部と前記プリンタ部を利用するコピー処理を制御部により制御する制御ステップと、前記プリント処理を実行する際に、前記受信ステップが受信したプリントデータを、展開部により前記プリント処理を実行するためのデータへ展開処理する展開ステップと、前記制御部及び前記展開部のそれぞれへの電力供給を制御する電力制御ステップとを有し、前記制御ステップは、前記電力制御ステップにより前記制御部及び前記展開部の両方に所定の電力を供給した状態で前記プリント処理を実行し、前記電力制御ステップにより前記制御部に所定の電力を供給する一方前記展開部へは所定の電力を供給しなくとも前記コピー処理を実行可能としたことを特徴とする。

## 【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 4

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 5

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 1 3】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 6

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 2 6】

以上説明したように、本発明によれば、プリント処理を実行するためにプリントデータの展開処理をする展開部に電力を供給しなくてもコピー処理を実行可能にすることで、コピー処理実行時の節電効果を向上させる印刷装置及び電力制御方法を提供することができる。

【手続補正 1 4】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 7

【補正方法】 削除

【補正の内容】